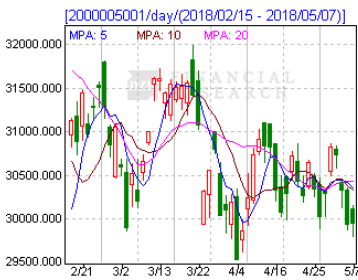




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	24,262.51	332.36	1.39	-0.20	-1.85	24,719.22
NASDAQ	7,209.62	121.47	1.71	1.26	4.44	6,903.39
日経225	22,472.78	-35.25	-0.16	0.02	-1.28	22,764.94
上海総合	3,091.03	-9.83	-0.32	0.29	-6.54	3,307.17
滬深300(CSI300)	3,774.60	-18.40	-0.49	0.47	-6.36	4,030.86
ハンセン	29,926.50	-386.87	-1.28	-1.17	0.02	29,919.15
中国企業	11,890.62	-128.24	-1.07	-1.46	1.55	11,709.30

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.2%安と3週続落、上海総合指数は0.3%高

香港市場では5月1日がメーデーの休場のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で1.2%安と3週続落した。4月30日に2週間ぶり高値を付けて始まったが勢いは続かず、その後は3日続落と売りが続いた。四半期決算を受けた物色が活発だった一方、米中貿易摩擦への懸念が重しとなった。本土市場はメーデーの連休のため3日間の取引。上海総合指数は3日間で0.3%高と続伸した。米中貿易摩擦への警戒感が根強い中、米中の貿易交渉の結果を見極めようと手控えムードが広がり、全般に神経質な展開となった。

今週の展望:香港市場は軟調な展開か、米中貿易交渉で隔たり浮き彫りに

香港市場は軟調な展開が見込まれる。先週の米中貿易交渉では米側が2020年までに中国の対米貿易黒字を2000億米ドル圧縮することや、「中国製造2025」の補助金の停止などを要求。交渉は長期化の様相を呈しており、米中貿易摩擦激化への警戒感が引き続き相場の重しとなりそうだ。また、今週は中国の主要経済指標の発表が相次ぐことから、発表を前に様子見ムードが強まる可能性もある。本土市場も貿易摩擦への楽観論後退で軟調な展開が見込まれる。8日発表の貿易統計の内容次第ではサプライズもあり得る。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位		
	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	舜宇光学科技(02382)	131.50 4.78
2	中銀香港(02388)	40.70 4.23
3	サンズ・チャイ(01928)	45.40 2.60
4	ホンコン・チャイガス(00003)	16.54 2.10
5	銀河娛樂(00027)	68.70 1.78
6	九龍倉置業地産(01997)	58.20 1.66
7	中国海外発展(00688)	26.15 1.55
8	レボグループ(00992)	3.72 0.81
9	香港証券取引所(00388)	254.40 0.79
10	吉利汽車(00175)	20.90 0.72

▼騰落率下位		
	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	中国神華能源(01088)	18.64 -6.80
2	中国蒙牛乳業(02319)	25.35 -4.16
3	交通銀行(03328)	6.16 -3.30
4	中国中信(00267)	11.46 -3.21
5	HSBC(00005)	74.95 -3.17
6	ヘトロチャイ(00857)	5.56 -3.14
7	中国旺旺(00151)	6.85 -2.70
8	万洲国際(00288)	8.03 -2.55
9	中国平安保険(02318)	74.85 -2.54
10	チャイ・ニコム(00762)	10.66 -2.38

▼今週の期待材料

- ◆米著名投資家バフェット氏がアップル株を追加取得、アップル関連株やIT株の追い風に
- ◆中国スマホメーカー大手の小米が香港市場への上場を申請、ユニコーン上場で市場活性化へ
- ◆6月からMSCI新興国株指数にA株を組み入れ、組み入れを前に先回り買いが入る可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆米中貿易交渉で双方の意見の隔たりが浮き彫りに、米中貿易摩擦激化への警戒感がくすぶる公算
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き1100億元の資金を市場から吸収、資金吸収は2週連続
- ◆米雇用統計で失業率が3.9%に低下、17年4カ月ぶりの3%台で米利上げペース加速への思惑が強まる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 香港証券取引所(00388):9日に1-3月期決算を発表、市場予想は42%増益
- ☆ テンセント(00700):ハンセン指数のウェイト調整、8.98%から10.0%に上昇
- ☆ 中国金茂(00817):4月の不動産販売額が5.3倍に拡大、1-4月は4.3倍
- ☆ 石薬集団(01093):ハンセン指数構成銘柄に新規採用が決定、6月4日発効
- ☆ 瑞声科技(02018):バフェット氏がアップル株を追加取得、関連銘柄に追い風
- ☆ 中国華融資産管理(02799):中国企業指数に新規採用が決定、6月4日発効
- ☆ 中国恒大集団(03333):4月の不動産販売額が33%増加、販売面積は26%増
- ◇ 万科企業(02202):4月の不動産販売額は横ばい、販売面積は11.1%減少
- ★ HSBC(00005):18年の自社株買いは20億米ドル、前年に比べ規模縮小
- ★ レノボグループ(00992):ハンセン指数構成銘柄からの除外が決定、6月4日発効

▼今週の主なイベント

- 5月8日(火)
- 【中国】貿易統計(4月)
- 5月10日(木)
- 【中国】物価統計(4月)
- 5月11日(金)
- 【香港】GDP速報値(1-3月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。